

1. 調査研究校名

ふりがな	おかやまけんにいみしりつしせいしょうがっこう
学校名	岡山県新見市立思誠小学校

2. 調査研究のテーマ

研究テーマ	【開始学年】 第1学年・第2学年・第3学年・第4学年・第5学年・第6学年
	外国語活動型 教科型 1コマ・2コマ

3. 取組の具体的な内容

a 使用した教材 ・「英語ノート」の使用有り。全学年で、各単元（4～5時間）で2～3回活用した。電子ボードを活用してデジタルコンテンツを全体に提示したり、音声を聞いたりした。5、6年生の児童は各自保有しているので、書き込みなども行った。 ・副読本を使用 啓林館「小学生のえいごBook1・2・3」 ・市販の絵本や写真集 ・教員自作のプリントやワークシート ・新見市作成のピクチャーカード（大・小） ・各単元でのコミュニケーション活動に必要な自作の小道具（サイコロ・お面・絵カード等）
b 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組 1時間の授業の基本的な流れを設定し、研修時間を通して共通理解を図った。また、HRT（学級担任）、ALT（外国人英語指導助手）、AT（支援教師）の3人のTT指導体制をとり、それぞれの役割を明確にすること（担任が主となり活動を進める）で効果的な指導にあたるようにした。研修時間を利用し、英語スキルアップ講座としてクラスルームイングリッシュを学習したり、英語ノートの具体的な活用場面の研修をしたりした。各学年で単元計画を作成する中で、有効なコミュニケーション活動を考えたり、公開授業の指導案検討を全員で行ったりすることも教員の指導力向上につながった。研究協力校や先進校の授業を参観したり、それを他の教員に伝えたりすることで外国語活動の取組についての見識が広がった。
c 児童の興味・関心等の学習状況の変容について定量的に把握するための取組 児童の興味・関心などの意識や実態を日常の指導やカリキュラムの改善に役立てるために「児童アンケート」を昨年度末から定期的に実施し、アンケートの結果や推移を継続的、経年的に分析することにした。その際、記名式にすることで、児童一人一人の思いや気持ちの変化に対応した指導や支援につながり、外国語活動の改善を行うことができる考えた。授業の終末時での児童の感想発表や児童による自己評価の方法として「ふり返りカード」と「Can-Do Checkカード」の活用に継続的に取り組んできた。その中からも児童の意識や学習状況の変容を担当がつかむようにした。
d 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用 本校のALTは週4日勤務している。ALTは、ネイティブスピーカーの視点から英語表現や文化などを体験的な活動を通して指導していくようにし、児童が生の英語にふれる大切な役割を果たした。ALTを通して、日本とは異なる外国の文化を知ること、言葉や文化に対する理解を深める契機ともなっている。また、6年生の活動などでは、地域にいる複数のALTに来てもらい交流活動を実施し、児童一人一人が外国の人と直接コミュニケーションを図る機会をもった。
e その他（校内における外国語教育推進体制の構築、地域との連携等） 外国語活動の推進体制として、研究推進委員会で計画の立案や研究の推進、各学年部のとりまとめをし、職員全体で話し合うようにした。また、カリキュラム研究や授業研究を推進する授業研究部と掲示やICT機器の整備、調査研究を進める学習環境部を置いた。地域の保護者にはPTA総会で外国語活動の取組を紹介したり、英語参観日として授業公開を行ったりした。

4. 学習指導案

別途添付

5. 取組の成果等

①昨年度・本年度の児童アンケート結果から、90%を超える児童が「英語活動が好き」「英語活動が楽しい」と感じていることが分かる。アンケートやふり返しカードの感想などからも、変化に富んだゲーム活動そのもの楽しさ・おもしろさを感じていることが分かる。本年度の研究の取組として、児童の目的意識を大切に、友達とお互いを伝え合うなどのコミュニケーション活動や場の工夫を行ったことにより、ゲームの楽しさだけでなく、友達や教師との関わりやふれあいの楽しさや喜びを体感する児童が増えるなど、生き生きと活動する姿や感想から成果が伺える。ALTの英語での説明だけではゲームや活動の仕方が十分理解できず、英語活動を楽しめていない様子が見られたため、教師のスキットやデモンストレーションで動作を付けながら英語で分かりやすく示すようにした。

②教師が同じ方向をめざして授業研究や授業実践を行うことにより、3人の指導体制ではあるが、HRT（学級担任）が中心となって進める英語活動の基本の形ができ教師の意識も変わってきた。児童の実態や活動のねらい、目的に基づいた授業運営を行い、児童が安心して活動に取り組める雰囲気を作るためには、児童一人一人の個性を知るHRTの果たす役割が大きく感じる。また、一つの学級の授業後に別の学級に授業の様子を伝え合い、児童の実態に基づいた授業内容や計画などのカリキュラム評価や改善を行うことで、すぐに次の授業に生かすことができるなど、評価と一体となった指導ができたことは、児童がより生き生きとした活動を行うことに直接結び付いた。児童の様子や活動の評価、単元や授業構成などカリキュラムの評価を指導に生かすための、HRT、ALT、AT、または、複数学年団での話し合いは不可欠であるが、話し合いの時間を放課後の時間等に効率よく確保することが課題である。複数で指導するメリットを最大限生かすためには、十分な打ち合わせが重要である。

③校内研修活動を進める中で、研究体制、指導体制が整い、教師の共通理解に基づいた授業実践が行えていることは、大きな成果といえる。特に、各学年の単元指導計画の作成にあたって、複数学年の教師で話し合う機会を設定したことは、発達段階や学年差を考慮した内容構成を行う上で生かされた。英語活動における児童の学びのスタイルも各学年や学校全体での統一感が生まれ、教師と児童が一体となった英語教育を進めるための素地ができたと感じる。

④English roomを設け、英語を学ぶ雰囲気や教材備品を整えるなど、英語活動が行いやすい環境づくりに努めたことで、児童は開放感の中で伸び伸びと活動することができるようになった。新見市カリキュラム例に基づき、本校の児童の実態や発達段階を考慮した全学年、全単元の指導計画を作成・修正した。低学年、中学年、高学年では、それぞれ同一のカリキュラムを2学年で繰り返し指導することから、同単元・同内容・異程度の単元計画を立てることで学年差へ配慮し、児童の実態に沿い柔軟に対応したものとなるよう改善を行った。2学年で同様の内容を扱うので、同じ単元でも言語材料や英語表現の数を増やしたり、扱う言語材料は同じでも、内容や活動に変化をもたせたりするなどの工夫や改善を行う必要である。コミュニケーション活動におけるゲーム活動を、英語表現を身につけるための活動としてだけでなく、コミュニケーション能力や主体性を育てるための活動という意識に基づいた授業実践が行われてきたことは、本校の英語活動において自負すべきところである。教師が計画的、意図的に構成した活動の中で、児童は楽しみながら発話し、進んで友達と関わろうとする主体性が見られる。児童の活動する場をしっかりと確保したことや、インフォメーションギャップを大切に、自己決定をして主体的に伝え合わなければならないタスクやコミュニケーション活動を取り入れる努力をしてきた成果といえる。

6. 次年度以降の継続・展開

・作成した全学年、全単元の指導計画について、それぞれ同一のカリキュラムを2学年にわたって繰り返し指導することから、児童の興味・関心や言語材料、コミュニケーション活動の変化・工夫といった視点から、学年差を考慮した同単元・同内容・異程度の単元計画の改善をさらに図っていく。

・ICTを効果的に活用し、効果的に視覚資料を提示しながら単元に関連した外国の文化や習慣にふれる機会を設けたことで、言語・文化に関する内容の理解が図られた。英語ノートのデジタルコンテンツの活用とともにさらに充実させていきたい。また、コミュニケーションに関しては、自己表現につながるステップとして、歌やチャッツ、クイズ、ゲームなどを用いて英語表現に繰り返しふれ、慣れ親しむなど、インプットする場を十分確保する授業構成を図っていきたい。そのことにより、児童の発話への安心感や自信、積極的な活動につながることを考える。さらにコミュニケーション活動の形態（学級集団→グループ→個人）や活動（聞き取り型→発話型→対話型）を意図的、段階的に配置することで、積極的な会話や関わりが増えてくると考える。

・活動についての打ち合わせの時間は、児童の様子や活動の評価、単元や授業構成などカリキュラムの評価を指導に生かすために不可欠であるが、話し合いの時間を放課後の時間等に効率よく確保することが課題である。そこで、今年度で作成した単元指導計画を基に話し合うことで短時間に行うことが可能となる。複数で指導するメリットを最大限生かすために、十分な打ち合わせを行うように努める。

・「コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度」「コミュニケーション能力」「言語・文化への気付き・理解」の3つの評価の観点で各単元の評価規準を設定し、1時間ごとの指導の内容と照らし合わせながら、具体的な評価の場面や育てたい姿をイメージしながら評価計画を立てたことで、活動内容が精選され、活動のねらいが明確になった。今年度の実践をもとに評価についての研究をさらに深めていきたい。また本校独自に作成した「Shisei Game-like Activities Card」を今後活用することで、活動内容や活動形態、評価場面の明確化が図られ、評価と一体となった指導に効果的に役立てられると考える。

・「児童アンケート」の結果や推移を継続的、経年的に分析していく。今後は、アンケート項目の内容についても再検討し、児童の思いや考えがより把握でき、十分指導に生かすことができるものとなるよう改善を図りたい。

・校内研修会で中学校の英語担当の先生を招き、中学校での英語学習の取組の様子についての話や小学校の英語活動の取組に関する感想や意見を伺う機会を設けたことにより、教師相互の理解が深められ、日常的な交流や共通理解に基づいた研究推進に効果的であった。今後は、さらに中学校の授業を見たり、本校の外国語活動を見てもらったりすることで、系統性を考えたり連携を図ったりすることができると思われるので、小中連携という意味からも可能な範囲で計画していきたい。また、中学校入学前である6年生の授業の中で、進学先の中学校の外国人ALT（2名）との交流の機会をもつことは、中学校への円滑な移行に向けての一助となると考えるので、6年生の単元計画の中で考えていきたい。

7. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	今年度の研究の方向性について 研修計画案作成 研修計画の決定 単元年間指導計画の改善		
5月	理論研究「目標と評価規準について」 学年研修（学年の指導の重点、テーマ設定） 第1回外国語活動公開授業研修会の開催について		
6月	理論研究「評価について」 第1回外国語活動公開授業研修会指導案検討	第1回外国語活動 公開授業研修会	研究推進委員会 庶務担当者会 第1回運営指導委員会
7月	教材研究・指導計画立案 教員のための英語カススキルアップ講座 「英語ノート」活用研修 ICT機器を効果的に利用した授業作り 児童アンケートの実施		協力校（小）公開授業研修会
8月	4～7月分単元指導計画表・活動カードの整理 第2回外国語活動公開授業研修会指導案検討 「研究紀要」の作成について		研究推進委員会
9月	第1回外国語活動公開授業研修会の役割分担について 児童アンケートの結果分析	第2回外国語活動 公開授業研修会	
10月	第3回外国語活動公開授業研修会の役割分担について 第3回外国語活動公開授業研修会指導案検討		英語教育フォーラム（京都市）参加 協力校（小）公開授業研修会
11月	「前期教育評価（外国語活動）」結果分析	第3回外国語活動 公開授業研修会	先進校視察（金沢大附属小） 先進校視察（寝屋川市） 文科省研究開発学校研究発表大会参加 先進校視察（南房総市三原小）
12月	9～12月分単元指導計画表・活動カードの整理 単元指導計画表・活動カードの整理		第7回京都市小学校英語活動研究大会参加 協力校（小）公開授業研修会 協力校（中）公開授業研修会 研究推進委員会 庶務担当者会
1月	児童アンケートの実施 児童アンケートの結果分析		第2回運営指導委員会 協力校（中）公開授業研修会
2月	研究の評価と課題について 「研究紀要」の原稿作成 外国人を招いての交流活動 報告書作成		先進校視察（立命館小） 先進校視察（鳴門教育大附属小） 協力校（小）公開授業研修会
3月	1～3月分単元指導計画表・活動カードの整理 次年度の単元指導計画の準備		

第1学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 ミルクがすきだよ (I like milk.)

2 単元目標

- 食べ物や飲み物の名前を表す言葉に興味をもち、“What food / drink /dessert do you like?” “I like □.”を用いて、好きな物の名前を尋ねたり答えたりしながら楽しくコミュニケーションをする。
- 食べ物や飲み物の名前を表す言葉には、英語と日本語で言い方がよく似ているものがあることや、日本の給食と異なる外国の給食の様子に気付く。

3 評価規準

【 コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度 】

- ・ 友達に好きな食べ物や飲み物の名前を尋ねたり答えたりして、食べ物のカードやシールを集めながら多くの友達に関わって活動しようとしている。

【 コミュニケーション能力 】

- ・ 好きな食べ物や飲み物の名前を尋ねたり答えたりする英語表現を用いて、多くの友達に関わって活動している。

【 言語・文化への気付き・理解 】

- ・ 食べ物や飲み物の名前を表す言葉には、英語と日本語で発音が少し異なるが言い方がよく似ているものがあることや、外国には、好きな物が選べる形式の給食があることに気付く。

4 指導計画 (全4時間)

第1時 おいしそうだね

第2時 ミルクがすきだよ

第3時 何がすきかな

第4時 マイランチを作ろう

5 言語材料

What's this? It's a □. Do you like □? Yes, I do. / No, I don't.

What food / drink / dessert do you like? I like □.

(食べ物) food

pizza, spaghetti, sandwich, hamburger, curry and rice, bread, steak, rice ball

(飲み物) drink

soda, milk, tea, orange juice, water, cocoa

(デザート) dessert

banana, cake, ice cream, melon, pudding, strawberry

第1時

目 標	<p>○ ランチメニューに興味をもち、進んで食べ物や飲み物の名前を表す言葉を伝えようとしている。</p> <p>○ 食べ物の名前には日本語の言い方に似た英語があることに気付く。</p>	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>Exercise</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、好きなランチを作ることや食べ物などの名前を尋ね合うことを知り、活動の見通しをもつ。</p>		<p>●◆ 元気のよい声であいさつをし、活動意欲を引き出すようにする。</p> <p>●◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>●◆ ジェスチャーを交え、楽しい雰囲気の間わるスキットになるようにし、単元を通しての見通しがもてるようにする。</p>
<p>ランチメニューの名まえをたずねたり、こたえたりしよう。</p>		
<p>Game-like Activities</p> <p>○ 食べ物や飲み物の名前を尋ねたり答えたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>HRT : What's this? ALT : It's a □. A T : What's this? ALT : It's a □</p> </div> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <p>・「Karuta Game」 ALT の英語表現をよく聞いて、楽しくカード取りをすることにより、食べ物や飲み物の言い方に慣れるとともに友達と関わる楽しさを味わう。</p> <p>・「Fruit-basket Game」 全員で発話したり単語を聞いて移動したりすることで、体を動かしながら友達と楽しんで言葉を確かにする。</p>		<p>●◆ 絵カードを提示し、日本語で答えたあと英語の言い方を聞かせることで、比較しながら英語表現にふれることができるようにする。</p> <p>●■ 色分けしたボードに絵カードを分類して貼ることで、食べ物、飲み物、デザートに分けられることに気付くようにする。</p> <p>★ 食べ物の名前には日本語の言い方に似た英語があることに気付く。 【 気 】</p> <p>◆ 指示する声の大きさを変えたり、カードのない別の食べ物や飲み物の名前を混ぜて指示したりすることで、英語表現を集中して聞き、慣れるようにする。</p> <p>●◆ 集団発話を通して、楽しみながら食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりする言い方に慣れることができるようにする。</p> <p>●◆ ゲームが楽しめるよう単語を十分に覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援する。</p> <p>★ ランチメニューについて自分の思いを発表したり、尋ね合う英語表現を用いながら、食べ物や飲み物の名前を表す言葉を発話したりしている。 【 関 】</p>
<p>Wrap-up</p> <p>○ 今日のがんばりを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>		<p>●◆ ALT の英語表現を聞いてカード取りをしたり、新しい英語表現を用いてゲームを楽しんだりすることができたことを称賛し満足感を味わわせる。</p>

目 標	○ 食べ物や飲み物の言葉を用いて好きか嫌いかを尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動をしたり会話をしたりする。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up	○ あいさつをする。	●◆ 元気のよい声であいさつをし、活動意欲を引き出すようにする。
	○ 「What's your name?」を歌う。	●◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。
Exercise	○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、そのランチメニューが好きかどうかを尋ね合うことを知り、活動の見通しをもつ。	●◆ 教師のスキットを通して、既習の “Do you like □?” “Yes, I do.” “No, I don't.” の使い方を想起することで、好きかどうかを尋ね合うことに興味をもつことができるようにする。
そのランチメニューがすきかどうかをたずねたり、こたえたりしよう。		
Game-like Activities	○ ランチメニューにある食べ物や飲み物が好きかどうかを尋ねたり答えたりする。 ALT : Do you like □? HRT : Yes, I do. ALT : Do you like □? A T : No, I don't.	●◆ 絵カードを提示することで、視覚的に捉えながら、自分は好きかどうか自己選択して答える活動を通して、英語表現に慣れることができるようにする。 ●◆ ALT との対話的なチャンツを通して、その食べ物や飲み物が好きかどうかを尋ねたり答えたりすることで、発話が確かなものになるようにする。
	○ コミュニケーション活動をする。 ・「○× Game (Yes No Game)」 提示されたカードを見ながら、全員で好きか嫌いかを予想して尋ねたり答えたりして、英語表現に慣れる。 ・「Present Game I」 相手が好きそうな食べ物や飲み物を尋ね、“Yes, I do.”でカードを手渡すことで、たくさんの友達と関わりながら英語表現に慣れる。(drink, dessert, food)	●◆ ALT がその食べ物や飲み物が好きか嫌いかを予想して分かれ、グループごとに答える活動を通して、自己決定の習慣化を図るとともに、発話が不安な児童も友達と一緒に言うことで自信を持つことができるようにする。 ★ 楽しみながら活動し、英語表現を使って進んで好きか嫌いかを尋ねたり答えようとしていたりしている。【関】 ●◆ ゲームが楽しめるよう単語を十分に覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援し、好きか嫌いか自分の意思が伝えられるようにする。 ★ 英語表現を使って、好きか嫌いかを尋ねたり、答えたりしている。【能】
Wrap-up	○ 読み聞かせを聞く。 ・「The Very Hungry Caterpillar」の話 を聞く。 ジェスチャーを交えて語られる話を聞くことで概要を理解し想像を膨らませる。 ○ 今日のがんばりを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。 ○ あいさつをする。	◆ ジェスチャーや声の強弱、スピードの変化などを交えリズムカルに読んだり、途中に出てくる食べ物の名前や数をたしかめながら読んだりすることで、内容をイメージしやすくなるようにする。 ●◆ 英語表現を用いて、進んで友達に尋ねたり答えたりすることができるようになったことや友達と尋ね合いができたことを称賛し、満足感を味わわせる。

<p>目 標</p>	<p>○ 好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動をしたり会話をしたりする。 ○ 日本とは違う給食の形式があることに気付く。</p>	
<p>過 程</p>	<p>児童の活動</p>	<p>教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)</p>
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>Exercise</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりしながら自分の好きなランチプレートを作成させることを知り、活動の見直しをもつ。</p> <p>Game-like Activities</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。 ・「Corners Game」 音楽に合わせて好きな食べ物や飲み物のコーナーに行き、全員で好きな食べ物や飲み物の名前を尋ねたり答えたりして英語表現に慣れる。(drink, dessert, food)</p> <p>・「Present Game I (My Lunchを作ろう!)」 カフェテリア形式で、集団発話を用いてどの食べ物や飲み物が好きかを尋ねたり、「I like □.」と答えてそのカードをもらったりすることで、伝え合うことを楽しみ、英語表現に慣れる。</p> <p>Wrap-up</p> <p>○ 今日のがんばりを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりしながら自分の好きなランチプレートを作成させることを知り、活動の見直しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どんなランチがすきかをたずねたり、こたえたりしよう。①</p> </div> <p>○ ALTの母国や外国の小学校の給食の様子を知る。</p> <p>○ どんな食べ物や飲み物が好きかを尋ねたり答えたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ALT : What food do you like? HRT : I like □. ALT : What drink do you like? HRT : I like □. ALT : What dessert do you like? HRT : I like □.</p> </div> <p>○ コミュニケーション活動をする。 ・「Corners Game」 音楽に合わせて好きな食べ物や飲み物のコーナーに行き、全員で好きな食べ物や飲み物の名前を尋ねたり答えたりして英語表現に慣れる。(drink, dessert, food)</p> <p>・「Present Game I (My Lunchを作ろう!)」 カフェテリア形式で、集団発話を用いてどの食べ物や飲み物が好きかを尋ねたり、「I like □.」と答えてそのカードをもらったりすることで、伝え合うことを楽しみ、英語表現に慣れる。</p> <p>○ 今日のがんばりを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>●◆■ 元気のよい声であいさつをし、活動意欲を引き出すようにする。</p> <p>●◆■ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>●◆■ 教師のスキットを見て「What □ do you like? I like □.」の使い方を想起することで、どんな食べ物や飲み物が好きかどうかを尋ね合うことに興味をもつことができるようにする。</p> <p>●◆■ ALTの母国のカフェテリア形式の給食の様子やその他の外国の給食の様子(写真)を紹介し、日本との違いに目を向けることができるようにする。</p> <p>★ 日本とは違う給食の形式があることに気付く。 【気】</p> <p>●◆■ 食べ物、飲み物、デザートに分類して貼った絵カードを示しながらのチャンツを通して、好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりする言い方に慣れることができるようにする。</p> <p>●◆■ 好きな食べ物や飲み物を選び、グループごとに答える活動を通して、自己決定の習慣化を図るとともに、発語が不安な児童も友達と一緒に言うことで自信を持つことができるようにする。</p> <p>●◆■ 単語を十分に覚えていない児童に寄り添い、一緒にカードを指し示しながら声に出して意思が伝えられるよう支援する。</p> <p>★ 絵カードを交換しながら、好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりする英語表現を進んで言おうとしている。 【関】</p> <p>●◆■ 英語表現を用いて、進んで友達に尋ねたり答えたりすることができるようになったことや友達と尋ね合いができたことを称賛し、満足感を味わわせる。</p>

目 標	○ これまでに親しんだ英語表現を用いて、ランチプレートを示しながら友達と好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりする。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>Exercise</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、自分の好きなランチプレートを完成させ、お互いの好みを尋ね合うことを知り、活動の見通しをもつ。</p>		<p>◆■ 元気のよい声であいさつをし、活動意欲を引き出すようにする。</p> <p>◆■ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆■ ジェスチャーを交え、楽しい雰囲気の間わるスキットになるようにする。</p>
<p>どんなランチがすきかをたずねたり、こたえたりしよう。②</p>		
<p>Game-like Activities</p> <p>○ どんな食べ物や飲み物が好きかを尋ねたり答えたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: What food do you like ? B: I like □. A: What drink do you like ? B: I like □. A: What dessert do you like ? B: I like □.</p> </div> <p>○ コミュニケーション活動をする。 ・「Present Game II (My Lunch を作ろう!）」をする。 カフェテリア形式で、前時に決めた食べ物・飲み物・デザート各ベスト1を発話しながら取ること、好きな物を尋ねたり答えたりする英語表現を確かにする。</p> <p>・「Interview Game」をする。 出会った友達と好きな食べ物を尋ねたり答えたりしながら、ワークシートにシールを貼り合うことで、友達と関わる楽しさを味わう。</p> <p>○ 読み聞かせを聞く。 ・「The Very Hungry Caterpillar」の話聞く。 話を聞き、質問に答えることで、登場する食べ物を明確にし、絵本に親しむ。</p>		<p>◆■ 絵カードを提示することで、視覚的に捉えながら英語表現にふれることができるようにする。</p> <p>◆■ グループでのチャンツを通して、好きな食べ物や飲み物を尋ねたり答えたりする言い方を確認し、確かなものになるようにする。</p> <p>◆■ ALT の説明で、ゲームの進め方がよく分からない児童には、前時を想起させ、内容を理解して取り組めるようにする。</p> <p>◆■ ゲームが楽しめるよう単語を十分に覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援したり、ワークシートを指し示しながら意思が伝えられるようにする。</p> <p>■ 困っている児童には、友達の言ったことをゆっくり復唱したり、絵カードを示したりしながら、友達と会話をしたり意思を伝えたりできるようにする。</p> <p>★ 親しんだ英語表現を用いて、My Lunch を完成させ、友達の好みを尋ねたり、自分のランチプレートを示しながら答えたりしている。【能】</p> <p>◆ ジェスチャーや声の強弱などを交えリズムカルに読んだり、途中で質問も加えながら読み進めたりすることで、内容をイメージしやすくなるようにする。</p>
<p>Wrap-up</p> <p>○ 今日のがんばりを発表したり、ふり返しカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>		<p>◆■ 英語表現を用いて、進んで友達に尋ねたり答えたりすることができるようになったことや友達と尋ね合いができたことを称賛し、満足感を味わわせる。</p>

第2学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 犬を飼っているんだよ (I have a dog.)

2 単元目標

- いろいろなペットの言い方に親しみ, “What pet do you have?” “ I have a ○(色) □” という英語表現を用いて, どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりしながら, 友達と楽しくコミュニケーションをする。
- 世界中ではいろいろな動物がペットとして飼われ, 飼う人は, 自分たちと同じように大切にしていることに気付く。

3 評価規準

【コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度】

- ・ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりしながら, 多くの友達と楽しく活動しようとしている。

【コミュニケーション能力】

- ・ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする英語表現を用いて, 多くの友達に関わって活動している。

【言語・文化への気付き・理解】

- ・ 世界中ではどんな動物がペットとして飼われているかを知り, 外国でも自分たちと同じようにペットを大切に飼っていることに気付く。

4 指導計画 (全4時間)

- 第1時 かわいいね
- 第2時 なにがすきかな?
- 第3時 なにを飼っているの?
- 第4時 大すきだよ

5 言語材料

What's this? It's a □. What pet do you like? I like □.

Do you have a □? Yes, I do./ No, I don't. What pet do you have? I have a ○(色) □.

(ペット)

rabbit, monkey, mouse, goldfish, dog, cat, bird, hamster, horse, beetle, stag beetle, turtle, snake

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペットの言い方を表す言葉に興味をもち、進んで答えようとしている。 ○ 好きなペットを尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動する。 ○ 外国でペットとして親しまれている動物を知り、自分たちと同じように大切に飼っていることに気付く。 	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをする。 ○ 「Hello Song」を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆■ 明るく大きな声であいさつし、活動意欲を引き出すようにする。 ◆■ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。
Exercise	<ul style="list-style-type: none"> ○ HRT, ALT, AT のスキットを見てめあてをもち、今日の活動のや単元の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> ペットの名前をたずねたり、こたえたりしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ALT の飼っているペットや母国でよく飼われているペットの話聞く。 ○ どんなペットが好きかを尋ねたり答えたりする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> HRT : What pet do you like? ALT : I like □. ALT : What pet do you like? AT : I like □. </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆■ ジェスチャーを交え、楽しい雰囲気の間わるスキットになるようにし、単元を通しての見通しがもてるようにする。 ◆◆ ALT の話や映像を通して、世界中では様々な動物がペットとして飼われ、大切にされていることを伝え、自分たちと同じ思いに目を向けることができるようにする。 ★ 外国でペットとして親しまれている動物を知り、自分たちと同じように大切に飼っていることに気付く。【気】 ◆■ 絵カードを提示し、日本語で答えたとに英語の言い方を知らせることで、比較しながら英語表現にふれることができるようにする。 ◆■ ALT との対話的なチャンツでリズムに合わせ、ジェスチャーも交えながら発話しながら楽しんで言い方の練習ができるようにする。
Game-like Activities	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Gesture Game」 友達のジェスチャーを見て、何の動物かを当てることで、動物に親しみながら、英語表現に慣れる。 ・「Corners Game」をする。 音楽に合わせて動きながら自由にペットのコーナーを選び、どんなペットを飼っているかを全員で発話することで、尋ねたり答えたりする言い方に慣れる。 ○ スキットをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Peach Boy」 「ももたろう」のお話を ALT・AT・HRT の演技を見たり、一緒に発話したりすることで、ストーリーや特徴ある英語表現を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆■ 動物を表すジェスチャーは、チャンツの時に示しておくことで、特徴的な動きを表現できるようにする。 ◆■ 集団発話を通して、楽しみながらペットの名前を尋ねたり答えたりする言い方に慣れるようにする。 ★ ペットの言い方を表す言葉に興味をもち、友達と発話をしたり、ゲームをしたりしながら、進んで答えようとしている。【関】 ◆■ 演技する児童とゴール隊の児童が協力してできるように場の工夫を行い、教師の演技を見ながら真似することで、発話や動きに慣れるようにする。
Wrap-up	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日のがんばりや楽しかったことを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。 ○ あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆■ 英語表現やジェスチャーを用いて、友達と楽しく尋ねたり答えたりすることができるようになったことを称賛し、達成感や満足感を味わわせる。

目 標	○ ペットを飼っているかどうかを尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動をする。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up	○ あいさつをする。	◆◆ 明るく大きな声であいさつし、活動意欲を引き出すようにする。
Exercise	○ 「Hello Song」を歌う。	◆◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。
	○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、そのペットを飼っているかどうかを尋ね合うことを知り、活動の見通しをもつ。	◆◆ 教師のスキットを通して、既習の “Yes, I do.” “No, I don't.” の答え方を想起させ、like を have に変えて、飼っているかどうかを尋ね合うことに興味をもつことができるようにする。
そのペットを飼っているかどうかをたずねたり、こたえたりしよう。		
	○ 絵カードのペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ALT : Do you have a □? HRT : Yes, I do. A T : Do you have a □? ALT : No, I don't.</div>	◆◆ 絵カードを提示し、視覚的に捉えながら、本当に自分が飼っているかどうかを答えさせる活動を通して、英語表現に慣れることができるようにする。 ◆◆ ALT との対話的なチャンツを通して、そのペットを飼っているかどうかを尋ねたり答えたりすることで、発語が確かなものになるようにする。 ★ 絵カードを見ながら、ペットを飼っているかどうかを尋ねたり答えたりする英語表現を進んで言おうとしている。【関】
Game-like Activities	○ コミュニケーション活動をする。 ・「Pet Basket Game」 どんなペットの名前が言われたのかをよく聞いたり、言ったりすることにより、ペットの名前の言い方を確かにする。 ・「Grouping Game」 同じカードを持っているかどうかを尋ね合い、仲間を見つけていくという活動を通して、たくさんの友達と関われるようにするとともに、楽しみながら英語表現に親しむ。	◆◆ 言葉を聞くことや、集団発話を通して、楽しみながらペットを飼っているかどうかを尋ねたり、答えたりする言い方に親しむことができるようにする。 ◆◆ ゲームが楽しめるよう英語表現を十分に覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援する。 ★ 英語表現を用いて、そのペットを飼っているかどうか尋ねたり Yes や No を使って答えたりしている。【能】
Wrap-up	○ スキットをする。 ・「Peach Boy」 人物や動物などの特徴ある英語表現を全員で発話することで英語表現に慣れる。 ○ 今日のがんばりや楽しかったことを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 演技する児童とコール隊の児童が協力してできるように場の工夫を行い、教師が発話のきっかけを作ることで、楽しみながら英語を用いて表現できるようにする。 ◆◆ 英語表現を用いて、飼っているかどうかを友達と楽しく尋ねたり答えたりすることができるようになったことを称賛し、達成感や満足感を味わわせる。

目 標	○ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動をする。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up	○ あいさつをする。	◆◆ 明るく大きな声であいさつし、活動意欲を引き出すようにする。
	○ 「Hello Song」を歌う。	◆◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。
Exercise	○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりすることを知り、活動の見通しをもつ。	◆◆ 教師のスキットを見て What の使い方を想起させ、どんなペットを飼っているかを尋ね合うことに興味をもつことができるようにする。
<p>どんなペットを飼っているかをたずねたり、こたえたりしよう。①</p>		
	<p>○ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ALT : What pet do you have ? HRT : I have a ○ (色) □. : What pet do you have ? A T : I have a ○ (色) □. : What pet do you have ? ALT : I have a ○ (色) □.</p> </div>	<p>◆◆ 絵カードの色の違いに着目させながら、ジェスチャーも交えリズムに合わせて発話させすることで、楽しんで言い方の練習ができるようにする。</p> <p>★ 絵カードを見ながら、どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする英語表現を進んで言おうとしている。【関】</p>
Game-like Activities	<p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Listening Game」 「What pet do you have?」と ALT に尋ね、ALT の発話した動物に色を塗ることを通して、英語表現に慣れる。 ・「Bingo Game」 動物と色を関連させたカードを使って、尋ねたり答えたりしてビンゴを完成していくことで、友達と関わりながら楽しく英語表現に親しむ。 	<p>◆◆ 指示する言葉を聞いて色塗りをする活動や集団発話を通して、楽しみながらペットの名前や色を紹介する言い方に慣れることができるようにする。</p> <p>◆◆ 好きなペットやその色を選び、尋ね合う活動を通して、自己決定の習慣化を図るとともに、発話が不安な児童に寄り添い、一緒にゆっくり復唱することで、自信をもつことができるようにする。</p> <p>★ 英語表現を用いて、どんなペットを飼っているか尋ねたり答えたりしている。【能】</p>
	<p>○ スキットをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Peach Boy」 「ももたろう」のお話を役になって演じることで、英語を用いて表現することに慣れる。 	<p>◆ 演技する児童とコール隊の児童が協力してできるように場の工夫を行い、教師が発話のきっかけを作ることで、楽しみながら英語を用いて表現できるようにする。</p>
Wrap-up	<p>○ 今日のがんばりや楽しかったことを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>◆◆ 英語表現を用いて、色の違いにも目を向けて友達と楽しく尋ねたり答えたりすることができるようになったことを賞賛し、達成感や満足感を味わわせる。</p>

目 標	○ どんなペットを飼っているかを尋ねたり、自分の描いた絵を示して答えたりしながら友達とふれ合い、楽しく活動をする。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>Exercise</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見てめあてをもち、今日の活動の見通しをもつ。</p>	<p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「What's your name?」を歌う。</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見てめあてをもち、今日の活動の見通しをもつ。</p>	<p>◆◆ 明るく大きな声であいさつし、活動意欲を引き出すようにする。</p> <p>◆◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆◆ 自分の飼っている(飼いたい)ペットの絵を示し、楽しみながらスキットをすることで、活動への見通しや意欲がもてるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>どんなペットを飼っているかをたずねたり、こたえたりしよう。②</p> </div>		
<p>Game-like Activities</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Corners Game II」をする。 音楽に合わせて動きながら自由にペットのコーナーを選び、どんなペットを飼っているかを全員で発話することで、尋ねたり答えたりする言い方に慣れる。 ・「Interview Game」をする。 出会った友達にどんなペットを飼っているかを尋ねたり、自分の描いた絵を示して答えたりしながら、ワークシートにシールを貼り合うことで、友達と関わって表現する楽しさを味わう。 ○ スキットをする。 ・「Peach Boy」 「ももたろう」のお話を役になって演じることで、英語を用いて表現することを楽しむ。 <p>Wrap-up</p> <p>○ 今日のがんばりや楽しかったことを発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>○ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT : What pet do you have ? HRT : I have a ○ (色) □. : What pet do you have ? A T : I have a ○ (色) □. : What pet do you have ? ALT : I have a ○ (色) □.</p> </div> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Corners Game II」をする。 音楽に合わせて動きながら自由にペットのコーナーを選び、どんなペットを飼っているかを全員で発話することで、尋ねたり答えたりする言い方に慣れる。 ・「Interview Game」をする。 出会った友達にどんなペットを飼っているかを尋ねたり、自分の描いた絵を示して答えたりしながら、ワークシートにシールを貼り合うことで、友達と関わって表現する楽しさを味わう。 ○ スキットをする。 ・「Peach Boy」 「ももたろう」のお話を役になって演じることで、英語を用いて表現することを楽しむ。 	<p>◆◆ リズムに合わせて発話することで、楽しんで言い方の練習ができるようにする。</p> <p>◆◆ どんなペットを飼っているかを尋ねたり答えたりする言い方を確認し、確かなものになるようにする。</p> <p>■ ALT の説明でゲームの進め方がよく分からない場合には、補足し、児童がよく理解して取り組めるようにする。</p> <p>◆◆ スムーズに活動に入れない児童には、ゲームが楽しめるよう寄り添い、声に出して言えるように支援する。</p> <p>◆◆ 発話に困っている児童には、一緒にゆっくり復唱したり、絵を示したりしながら友達に自分の思いが伝わるように支援する。</p> <p>★ <i>親しんだ英語表現を用いて、どんなペットを飼っているかを友達に尋ねたり、自分の描いた絵を示しながら答えたりしている。</i> 【能】</p> <p>■ 演技する児童とコール隊の児童が協力してできるように場の工夫を行い、楽しみながら英語を用いて表現できるようにする。</p> <p>◆◆ 英語表現を用いて、友達と楽しく尋ねたり答えたりすることができるようになったことやたくさんのシールを貼ることができたことを称賛し、達成感や満足感を味わわせる。</p>

第3学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 すきな勉強はね (What subject do you like?)

2 単元目標

- いろいろな教科の言い方に親しみ, “What subject do you like?” “I like □.” や “Do you like □?” “Yes, I do./ No, I don't.” などの英語表現を使って, 好きな教科を尋ねたり答えたりしながら, 友達と楽しくコミュニケーションをする。
- 夢の時間割づくりの活動を通して, 親しんだ英語を使って自分の思いを表現する楽しさを味わうとともに, 外国の学校の様子には日本と似たところや違うところがあることに気付く。

3 評価規準

【コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度】

- ・ いろいろな教科の名前を尋ねたり答えたりしながら, 友達と楽しく活動しようとしている。

【コミュニケーション能力】

- ・ 好きな教科の名前を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ, 自分の思いを伝えたり相手の思いを聞き取ったりする。

【言語・文化への気付き・理解】

- ・ 教科には, 生活の中で聞き慣れたものがあることや, 外国の学校の様子には, 日本と似たところや違うところがあることに気付く。

4 指導計画 (全4時間)

- 第1時 何の教科がすきかたずねよう
- 第2時 音楽はすきかたずねよう
- 第3時 すきな教科をたずねあおう
- 第4時 「ゆめの時間わり」をつくろう

5 言語材料

What subject do you like? I like □.

Do you like □? Yes, I do./ No, I don't.”

(教科) Japanese, math, social studies, science, music, arts and crafts (arts), P.E., I.T., English calligraphy, moral education (morals), home economics

(ジャンケン) rock-scissors-paper-go!

(時間割) 曜日, 1st □. ~ 5th □.

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国の時間割に関心を持ち、夢の時間割づくりをするため、いろいろな教科の言い方や好きな教科の尋ね方や答え方を知る。 ○ 外国の学校の様子について、日本と似ているところや違うところがあることに気付く。 	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをする。 ○ 「The Days of the Week」を歌う。 <p>Exercise</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ALT から母国の学校の様子や時間割の話聞く。 ○ ALT, HRT, AT の3人が行うスキットを見て話し合い、今日の活動や本単元の見通しをもつ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>HRT : What subject do you like ? ALT : I like music. HRT : What subject do you like ? AT : I like Japanese.</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。 ◆◆ 児童と一緒に歌うことで、どの児童も楽しく活動できるようにする。 ■ 写真を提示しながら、ゆっくり話すことで児童に伝わりやすくする。 ★ 外国の学校の様子について話を聞き、日本と似ているところや違うところがあることに気付く。 【気】 ◆◆ 絵カードを示しながらスキットをすることで、話の内容が分かりやすくなるようにする。 ◆ スキットの内容について分かったことを発表できた児童を称賛する。 <p style="text-align: center;">単元の終末に、「夢の時間割」を作ること知らせ、本単元への意欲につなげる。</p>
<p>好きな教科をたずねたり答えたりしよう。</p>		
<p>Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の言い方や好きな教科の尋ね方や答え方を練習する。 ○ コミュニケーション活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Fruit Basket Game」 フルーツバスケットで、オニになった人に“What subject do you like?”とみんなで尋ね、オニが“I like □.”と答える活動を通して、英語表現に慣れる。 ・「Card Open Game」 グループ毎に、カードをめくり、教科を言い合うことで、教科の言い方や発話を確かにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆◆ 絵カードを見ながら、チャンツで楽しく発声する中で、英語表現に自信がもてるようにする。 ◆ 一緒にゲームをすることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。 ■ オニになった児童に寄り添い、大きな声で好きな教科を尋ねることができるように支援する。 ◆◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの進め方を理解できるようにする。 ◆◆ 担当のグループを決めておき、発話に困っているグループや児童に寄り添い、声に出して言えるように支援する。 ● 協力してうまく進めているグループを称賛することで、児童の意欲を高める。 ★ 教科の言い方を知り、好きな教科の尋ね方や答え方を聞き取り、発声をしようとしている。 【関】
<p>Wrap-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の活動を振り返り、まとめる。 ○ あいさつをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 英語表現を用いて、友達と楽しく活動ができたことを称賛する。 <p style="text-align: center;">単元終末で「夢の時間割」を作ること再度確認し、次の活動への意欲につなげる。</p>

第2時

目 標	○ 好きな教科について尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく活動をし、発話に慣れる。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up Exercise	<p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「The Days of the Week」を歌う。</p> <p>○ ALT, HRT, ATの3人が行うスキットを見て話し合い、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>ALT: What subject do you like? HRT: I like music. Do you like music? ALT: Yes, I do.</p> <p>ALT: What subject do you like? A T: I like math. Do you like math? ALT: No, I don't.</p>	<p>◆■ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。</p> <p>◆■ 児童と一緒に歌うことで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆■ 絵カードを示しながらスキットをすることで、話の内容が分かりやすくなるようにする。</p>
好きな教科をたずねたり答えたりしよう。		
Activities	<p>○ 教科についての英語表現の復習する。</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <p>・「Fruit Basket Game」 教科の数を増やし、“What subject do you like?” “I like □.”の言い方に親しみ、ゲームを楽しむ。</p> <p>・「Yes No Game」 教科が好きかどうかを選択することで“Do you like □?” “Yes, I do./ No, I don't.”の言い方に慣れる。</p> <p>・ALT からアメリカの学校の様子や時間割の話聞く。</p>	<p>◆■ 絵カードを見ながら、チャンツで楽しく発声する中で、英語表現に自信がもてるようにする。 グループやペアなど形態を工夫しながら発話をさせるようにする。</p> <p>◆■ 一緒にゲームをすることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。 ■ オニになった児童に寄り添い、大きな声で好きな教科を尋ねることができるよう支援する。</p> <p>◆■ デモンストレーションを行い、児童がゲームの仕方を理解できるようにする。 ■ 迷っている児童に寄り添い、自己決定できるようにしたり、自信を持って発話できるようにしたりしていく。</p> <p>★ 友達と好きな教科について尋ねたり答えたりする中で、発話を楽しもうとしている。 【関】</p> <p>★ いろいろな教科の言い方に慣れ、好きな教科について尋ねたり答えたりしている。 【能】</p> <p>◆ 写真を提示しながら、ゆっくり話すことで日本と似たところや違うところに児童が気付きやすくなるようにする。</p> <p>● 話の内容について補足したり、分かったことについて発表できた児童を賞賛したりする。</p>
Wrap-up	<p>○ 今日の活動を振り返り、まとめる。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>◆■ 英語表現を用いて、友達と楽しく活動ができたことを称賛する。</p>

第3時

目 標	○ 親しんだ英語表現を用いて、好きな教科について尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しくコミュニケーション活動をする。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆AL T■AT) 評価(★)
Warm-up Exercise	<p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「The Days of the Week」を歌う。</p> <p>○ ALT, HRT, ATの3人が行うスキットを見て話し合い、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>ALT : What subject do you like ? HRT : I like music. Do you like music ? ALT : Yes, I do.</p> <p>ALT : What subject do you like ? A T : I like math. Do you like math ? ALT : No, I don't.</p>	<p>◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。</p> <p>◆◆ 児童と一緒に歌うことで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆◆ 絵カードを示しながらスキットをすることで、話の内容が分かりやすくなるようにする。</p>
Activities	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">好きな教科をたずねたり答えたりしよう。</div>	
	<p>○ 教科についての英語表現の復習する。</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <p>・「Time Bomb Game」 2グループ対抗で、各自が好きな教科を選択して発話しながら、爆弾を回し、好きな教科についての会話に慣れる。</p> <p>・「Interview Game」をする。 ワークシートを使い、好きな教科について、できるだけたくさんの友達にインタビューすることで、教科の好みについて伝え合う活動を楽しむ。</p>	<p>◆◆ 絵カードを見ながら、チャンツで楽しく発話する中で、英語表現に自信がもてるようにする。チャンツは、グループで発話したり、チェーンチャンツをしたりするなど工夫する。</p> <p>◆◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの仕方を理解できるようにする。</p> <p>◆◆ グループを分担して見ることで、ゲームを盛り上げたり、発話の支援をしたりする。</p> <p>★英語表現を使って、好きな教科について尋ねたり答えたりしている。【能】</p> <p>◆◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの仕方を理解できるようにする。</p> <p>■ ワークシートを用意し、インタビューの手順や内容が分かりやすくなるようにしたり、インタビューしたことを記録できるようにしたりする。</p> <p>◆◆ 一緒にゲームをしたり、インタビューをしている様子を見て回ったりしながら、うまく発話したり楽しく活動したりする児童を称賛する。また、戸惑っている児童に支援する。</p> <p>★好きな教科について尋ねたり答えたりする活動を通して、進んで友達と会話を楽しもうとしている。【関】</p> <p>◆◆ 英語表現を用いて、友達と楽しく活動ができたことを称賛する。</p> <p>● 次時は自分だけの「夢の時間割」を作ることを知らせ、意欲を高める。</p>
Wrap-up	<p>○ 今日の活動を振り返り、まとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	

目 標	○ 夢の時間割づくりを通して、英語表現を使って好きな教科について尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しく自分の思いを伝え合う。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up	○ あいさつをする。 ○ 「The Days of the Week」を歌う。	◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。 ◆◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。
Exercise	○ 好きな教科についての英語表現の発話を確かめる。 ○ ALT, HRT, ATの3人が行うスキットを見て話し合い、今日の活動の見通しをもつ。 HRT: What subject do you like? ALT: I like music. Monday 1 st □, 2 nd □, 3 rd □, 4 th □, lunch time, 5 th □. Watanabe Sensei, do you like music? HRT: Yes, I do. ALT: Iwatate Sensei, do you like music? A T: No, I don't. I like math.	◆◆ 絵カードを見ながら、チャンツで楽しく発声する中で、英語表現に自信がもてるようにする。 ◆◆ ALTの時間割を提示し、数詞・曜日などの英語表現を使って紹介の様子を見せ、活動の見通しをもつことができるようにする。 ● 自分の好きな教科の時間割ができたなら楽しそうだという気持ちを盛り上げ、「ゆめの時間割」をつくって、みんなで紹介しようという意欲をもつことができるようにする。
ゆめの時間わりをつくって、しょうかいしよう。		
Activities	○ コミュニケーション活動をする。 ・「ゆめの時間割づくり」をする。 各自が一日の時間割をつくる。 グループ内で、各自の時間割を紹介し合い、一週間の時間割をつくる。 グループ員: What subject do you like? 発表者: I like ○. Monday 1 st □, 2...5 th □. Do you like ○? グループ員: Yes, I do./ No, I don't. それぞれのグループの時間割を紹介し合う。 クラス員: What subject do you like? グループ: I like ○. Do you like ○? クラス員: Yes, I do./ No, I don't.	◆◆ ALTの“What subject do you like?”の問いかけに応じて、各自が一日の時間割をつくっていけるよう、発話の拠として絵カードを準備する。 ● 迷っている児童に寄り添い、自己決定できるようにしていく。また、12教科以外を選ぶ場合は、白紙カードを渡し、自由に書いてよいことを知らせる。 ★ 進んで好きな教科を発話しながら、夢の時間割をつくろうとしている。【関】 ◆◆ デモンストレーションを行い、児童が紹介の仕方を理解できるようにする。 ◆ 各グループの様子を見て、児童の質問に答えたり、親しんだ英語表現を引き出したりする。 ● 各グループに加わり、数詞や曜日の言い方に不慣れの児童や自信のない児童には、一緒に発話するなどの支援をする。また、児童のつぶやきなどを取り上げ、その時間割への思いを伝えられるようにする。 ◆◆ “Let's count P.E.”などと投げかけ、時間割の特徴について視点を与えるようにする。 ★ 英語表現を使って、時間割についての思いを友達と楽しく伝えたり聞き取ったりしている。【能】 ◆◆ デモンストレーションを行い、クラス全体とグループ毎のやりとり、個々の返答による紹介の仕方を理解できるようにする。 ◆ “How many □?”などと問いかけ、親しんだ英語表現を引き出すようにする。
Wrap-up	○ 今日の活動を振り返り、まとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 自分だけの夢の時間割ができ、好きな教科について尋ねたり答えたりできるようになったことを称賛する。

第4学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 わたしの家族はね (This is my family.)

2 単元目標

- 家族の言い方に親しみ, “Who is this?” “ This is my □.” などの英語表現を使って, 家族について尋ねたり紹介したりしながら, 友達と楽しくコミュニケーションをする。
- 外国にも日本と同じように家族の呼び方があることや, 家族を大切にしている気持ちはどの国でも変わらないことに気付く。

3 評価規準

【コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度】

- ・ 家族について尋ねたり紹介したりしながら, 友達と楽しく活動しようとしている。

【コミュニケーションの能力】

- ・ 家族の言い方や紹介の仕方に慣れ, 家族について尋ねたり紹介したり, 相手の紹介を聞き取ったりする。

【言語・文化への気付き・理解】

- ・ 家族間での呼び方について, 日本と外国との似ている点や違いに気付くとともに, 家族を大切にしている気持ちはどの国でも変わらないことに気付く。

4 指導計画 (全4時間)

- 第1時 この人だあれ
- 第2時 わたしの家族はね
- 第3時 みんなで家族をつくろう
- 第4時 大好きな家族を紹介し合おう

5 言語材料

Who is this ? This is my □. My □ likes △. [He (She) likes △.] My □ is ~. (年齢)

(家族) father, mother, sister, brother, grandmother, grandfather, me
pet (cat, dog, ...)

(好きなもの) 色・動物・食べ物・スポーツ…

(数字) 1~100

第1時

目 標	○ 家族の言い方を表す言葉に興味をもち、家族の尋ね方や言い方を知る。 ○ 外国にも日本と同じように家族の言い方があることや家族を大切に思う気持ちに気付く。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up Exercise	○ あいさつをする。 ○ 「Memory Plus Game」をする。 ○ ALTの家族についての話(I)を聞き、「家族」に関心をもつ。 ○ アニメ「まる子」の家族の関係図を見ながら、家族の言い方や尋ね方を知る。 ----- Who is this ? This is my □. father, mother, sister, brother, grandmother, grandfather, me	●◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。 ●◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。 ◆ 自分の家族の紹介を写真を示しながらゆっくりと愛情を込めて話すことで、家族を大切に思う気持ちが伝わるようにする。 ■ 内容について聞き取れたり、聞いた感想が言えたりした児童を称賛する。 ★ ALTの家族の話を読み、外国にも日本と同じように家族の言い方があることや家族を大切に思う気持ちに気付く。 【気】 ●◆ アニメのキャラクターの家族の関係図を示すことで、家族の関係をつかみやすくし、家族の言い方が分かるようにする。
家族の言い方に慣れよう。		
Game-like Activities	○ 家族の尋ね方と答え方を練習し慣れる。 ○ コミュニケーション活動をする。 ・「Posing Game」をする。 ALTの発話に合わせて、決められたポーズを素早くするゲームをすることで、家族の言い方をしっかり聞き、表現に慣れる。 ・「Grow Up Game」 baby ~ grandfather (grandmother) までジャンケンで勝ったら成長していくというゲームを楽しみながら、家族の言い方に慣れる。	●◆ 絵カードを提示しながら、チャンツで楽しく発話することで、家族の尋ね方や言い方の英語表現に慣れることができるようにする。 ● ALTの説明で児童がよく分からない場合には、補足し、児童がゲームの進め方を理解して取り組めるようにする。 ●◆ ゲームが楽しめるよう児童に寄り添い、繰り返して発話したりポーズをとったりしながら支援する。 ●◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの準備や進め方を理解できるようにする。 ● 一緒にゲームをする中で、発話やポーズに戸惑っている児童に声をかけ、楽しめるように支援する。 ★ 家族の言い方に関心をもち、尋ねたり紹介したりする表現を聞き取り、発話しようとしている。 【関】
Wrap-up	○ 今日の活動を振り返り、感想を発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。 ○ あいさつをする。	●◆ 家族の言い方に慣れたり、英語表現を使って友達と楽しく活動できたりしたことを称賛し、今後の学習意欲へと繋ぐようにする。

第2時

目 標	○ 家族の言い方に慣れ、Who is this ? This is my □. などの表現を使って、友達と楽しく家族を紹介し合う。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「Memory Plus Game」をする。</p> <p>Exercise</p> <p>○ 家族の言い方や尋ね方、答え方の発話を確認める。</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て話し合い、これからの活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ALT : Who is this ? HRT : This is my □. My □ likes ○. ALT : Who is this ? AT : This is my □. My □ likes ○. HRT : Thank you.</p> </div>		<p>◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。</p> <p>◆◆ 進んで児童と関わることで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆◆ アニメのキャラクターの家族の関係図を示しながら、チャンツにより楽しく発話することで、家族についての英語表現に慣れることができるようにする。</p> <p>◆◆ 家族を紹介するスキットを行うことで、活動への見通しや意欲がもてるようにする。</p>
<p>Game-like Activities</p> <p>○ 家族を紹介する言い方を練習する。</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。 ・「Family Dice Game」をする。 サイコロを振り、出た目(家族・好きな物)を使って尋ねたり答えたりしながら、家族の言い方や紹介する表現に慣れる。</p> <p>・「Interview Game」 2人1組になり、他の組に家族の誰なのか尋ねたり自分たちを紹介したりしながらシールを集める活動をすることで、相手に尋ねたり紹介したりする会話に慣れる。</p> <p>・ALTの家族の話(Ⅱ)を聞く。 ALTの家族の話聞く中でALTの家族を大切に思う気持ちを感じる。</p> <p>Wrap-up</p> <p>○ 今日の活動を振り返り、感想を発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>家族について、紹介しよう。</p> </div> <p>○ 家族を紹介する言い方を練習する。</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。 ・「Family Dice Game」をする。 サイコロを振り、出た目(家族・好きな物)を使って尋ねたり答えたりしながら、家族の言い方や紹介する表現に慣れる。</p> <p>・「Interview Game」 2人1組になり、他の組に家族の誰なのか尋ねたり自分たちを紹介したりしながらシールを集める活動をすることで、相手に尋ねたり紹介したりする会話に慣れる。</p> <p>・ALTの家族の話(Ⅱ)を聞く。 ALTの家族の話聞く中でALTの家族を大切に思う気持ちを感じる。</p>	<p>◆◆ 絵カードを提示しながら、チャンツで楽しく発話することで、家族を紹介する英語表現に慣れることができるようにする。</p> <p>● ALTの説明で児童がよく分からない場合には、補足し、児童がゲームの進め方を理解して取り組めるようにする。</p> <p>◆◆ ゲームが楽しめるよう単語を十分覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援する。</p> <p>★ 絵カードを見ながら、家族を紹介する英語表現を進んで言おうとしている。【関】</p> <p>◆◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの準備や進め方を理解できるようにする。</p> <p>● 「好きなもの」は各ペアで決め、自分たちの思いを表現できるようにする。</p> <p>● とまどっているペアには、これまでの活動で慣れ親しんだ英語表現を紹介するなどの支援をする。</p> <p>★ 英語表現を使って、友達と楽しく家族について尋ねたり紹介したりしている。【能】</p> <p>◆ 自分の母親の紹介を児童が慣れ親しんだ表現を盛り込みながらゆっくりと愛情を込めて話すことで、家族を大切に思う気持ちが伝わるようにする。</p> <p>● 内容について聞き取れたり、聞いた感想が言えたりした児童を称賛する。</p> <p>◆◆ 英語表現を使って相手にうまく紹介したり、聞いたりすることができるようになったことを称賛し、今後の学習意欲へと繋ぐようにする。</p>

第3時

目 標	○ 親しんだ英語表現を使って、グループで作った疑似家族を紹介し合う。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「The Finger Family」を歌う。</p> <p>Exercise</p> <p>○ 家族の言い方や尋ね方、答え方の発話を確かめる。</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て話し合い、これからの活動の見通しをもつ。</p> <p>○ “He” や “She” の使い方を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ALT : Who is this ? HRT : This is my □. He likes ○.</p> <p>ALT : Who is this ? A T : This is my □. She likes ○.</p> <p>HRT : Thank you.</p> </div>		<p>◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。</p> <p>◆◆ 児童と一緒に歌うことで、どの児童も楽しく活動できるようにする。</p> <p>◆◆ アニメのキャラクターの家族の関係図を示しながら、チャンツにより楽しく発話することで、家族についての英語表現に慣れることができるようにする。</p> <p>◆◆ 家族を紹介するスキットを行うことで、活動への見通しや意欲がもてるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 家族について、紹介しよう。 </div>		
<p>Game-like Activities</p> <p>○ 家族を紹介する言い方を練習する。</p> <p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Keyword Game」をする。 グループで円になり、ALT がキーワードを言ったときに、円中央のフィルムケースを取るゲームを楽しみながら、家族の尋ね方や答え方の表現に慣れる。 ・「Make Family Game」をする。 各グループ(4~5人)で家族を作り、グループ同士で尋ねたり紹介したりしながら友達との会話を楽しむ。 		<p>◆◆ 絵カードを提示しながら、チャンツで楽しく発話することで、家族を紹介する英語表現に慣れることができるようにする。</p> <p>● ALT の説明で児童がよく分からない場合には、補足し、児童がゲームの進め方を理解して取り組めるようにする。</p> <p>◆◆ デモンストレーションを行い、児童がゲームの準備や進め方を理解できるようにする。</p> <p>■ ワークシートを使って各メンバーの役と好きなものを決め、家族を構成できるようにする。また、準備ができたグループには紹介の練習をするように声をかける。 とまどっているグループには、これまでの活動で慣れ親しんだ英語表現を紹介するなどの支援をする。</p> <p>◆◆ グループ同士でお互いに尋ねたり質問に答えたりしながら、紹介し合うようにする。 戸惑っている児童には、慣れ親しんだ英語表現を友達に聞くように促したり、教師が紹介したりする。</p> <p>★ 親しんだ英語表現を使って、進んで友達と家族を作ろうとしている。【関】</p> <p>★ 英語表現を使って、友達と楽しく家族について尋ねたり紹介したりしている。【能】</p>
<p>Wrap-up</p> <p>○ 今日の活動を振り返り、まとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>		<p>◆◆ 英語表現を使って相手にうまく紹介したり、聞いたりすることができるようになったことを称賛し、今後の学習意欲へと繋ぐようにする。</p>

第4時

目 標	○ 自分の家族を紹介する活動を通して、英語表現を使って友達と楽しく自分の思いを伝え合う。	
過 程	児童の活動	教師の支援(●HRT◆ALT■AT) 評価(★)
Warm-up Exercise	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをする。 ○ 「The Finger Family」を歌う。 ○ 家族の言い方や尋ね方、紹介の仕方の発話を確認する。 ○ HRT, ALT, AT のスキットを見て話し合い、これからの活動の見直しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。 ◆ 児童と一緒に歌うことで、どの児童も楽しく活動できるようにする。 ◆ アニメのキャラクターの家族の関係図や絵カードを示しながら、チャンツにより楽しく発話することで、家族についての英語表現に慣れることができるようにする。 ◆ 本時で使う紹介ボードで家族を紹介するスキットを行うことで、活動への見直しや意欲がもてるようにする。
自分の家族を紹介しよう。		
Game-like Activities	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの○○紹介します！」をする。 ・あらかじめ用意しておいた似顔絵、年齢カード、好きなものカードを貼って、紹介ボードを作る。 ・グループ内で、親しんだ英語表現を使って、一人一人に問いかけ、各自、家族について紹介していく。グループ内の紹介が終わったら、グループを変えてまた紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ALT の説明で児童がよく分からない場合には、補足し、児童がゲームの進め方を理解して取り組めるようにする。 ◆ 各グループごとにテーブルを用意し、準備をさせるようにし、準備の仕方を確認し合えるようにする。紹介ボードが準備できた児童に声をかけ、紹介に必要な英語表現を確認するようにする。 ★ 紹介したい家族を思い浮かべ、英語表現を考えながら紹介ボードを作ろうとしている。【関】 ◆ 見て回るグループを分担しておき、上手に紹介し合っているグループを賞賛したり、尋ねたり紹介したりする表現がうまくできない児童に寄り添い助言したりする。 ★ 英語表現を使って、家族の紹介を友達と楽しく伝えたり聞いたりしている。【能】
Wrap-up	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の活動を振り返り、感想を発表したり、ふり返りカードに記入したりして、本時のまとめをする。 ○ あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英語表現を使って相手にうまく紹介したり、聞いたりすることができるようになったことを称賛し、本時の活動に対する満足感がもてるようにする。

第5学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 旅行に行きたいね (I want to go to London.)

2 単元目標

- “Where do you want to go ?” “ I want to go to □ by □.” “Why ?” “I like □. I want to see/eat □.”などの英語表現を用いて、行きたい国やその理由を尋ねたり答えたりしながら、友達と楽しくコミュニケーションをする。
- いろいろな国の名前とその位置や文化などについてふれる活動を通して、その多様性に気付き、世界の国々に興味をもつ。

3 評価規準

【 コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度 】

- ・ 世界のいろいろな国への興味を広げ、行ってみたい国や理由について自分の思いをもち、友達との関わり合いを大切にしながら楽しく活動しようとしている。

【 コミュニケーション能力 】

- ・ 行ってみたい国やその理由を尋ねたり答えたりする英語表現を用いて、自分の思いをはっきりと伝えたり友達の思いをしっかり受けとめようとしていたりしている。

【 言語・文化への気付き・理解 】

- ・ 国の位置、国旗、特徴的な文化などについてふれ、世界にはいろいろな国があることや、国によって言語の違いなど様々な特徴があることに気付く。

4 指導計画 (全4時間)

- 第1時 世界の国々
- 第2時 行ってみたい国とその理由
- 第3時 行ってみたい国は？
- 第4時 みんなで世界を巡ろう！

5 言語材料

Where do you want to go ? I want to go to □.

Why ? I like □. I want to see / eat □. I want to go to □ by □.

(国名) America, Australia, Brazil, Canada, Egypt, France, Germany, India, Italy, Russia, Kenya, Korea, New Zealand, Spain, China, Switzerland, England

(動物) kangaroo, penguin, koala, panda,

(観光名所) The Great Wall, pyramid, The Statue of Liberty, Ayers Rock

(食べ物) pizza, steak, Chinese food, kimuchi

(スポーツ) soccer, baseball, ski, basketball

(乗り物) airplane, bike, bus, car, train, ship, air ballon, bike, motorbike

第1時

目 標	○ 国によってあいさつが違い、国旗や文化も様々であることに気付き、世界の国々に興味をもち、進んで活動する。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (●HRT ◆ALT ■AT) 評価 (★)
Warm-up	○ あいさつをする。	◆◆ いくつかのあいさつの表現を交えることで、コミュニケーションの場面に親しませる。
Exercise	○ 「Grouping Game」をする。	◆◆ 友達とふれ合うゲームを取り入れることで、以後の活動に意欲的に臨めるようにする。
	○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、行きたい国やその理由を尋ね合ったり移動手段を説明したりする活動であることに気付き、ツアー計画を立て紹介するという単元の見通しをもつ。	◆◆ 行ってみたい国とその理由を伝え合うスキットを見せることを通して、単元の活動の見通しがもてるようにするとともに、世界の国々についての情報も伝え、興味をもって活動できるようにする。
行ってみたい国や理由をたずねたり、答えたりしよう。		
	○ 代表的なあいさつや文化と国旗を結び付け、気付いたことを話し合う。 (英語ノート I P4~5 活用)	◆◆ ALT の話や映像を通して、世界中ではいろいろな国があり、国によってあいさつや言語、国旗や文化が違うことに目を向けることができるようにする。 ★ 国によってあいさつや言語、国旗や文化が違うことが分かる。 【気】
	○ 行ってみたい国を尋ねたり答えたりする英語表現を確認し、練習する。 ALT : Where do you want to go? HRT : I want to go to □. ALT : Where do you want to go? A T : I want to go to □.	◆◆ 電子ボードに英語表現を映し出したり、世界地図に国旗や各国の特色・文化等を掲示したりすることで、国の位置や様々な特色を視覚的に意識しながら発語できるようにする。
Game-like Activities	○ コミュニケーション活動をする。 ・「Hide Card Game」 “Where do you want to go?” と全員で発話し個人で消えたカードを考え “I want to go to □.” と答える活動を通して国名を意識し、英語表現に慣れる。 ・「Listening Game」 ALT の説明を聞きながら該当する国旗を探し、ワークシートに国名を記入することで、国旗と国名とを結び付けて考え、興味をもつ。 (英語ノート II P37 活用)	◆◆ 隠したカード(国旗)から国名を考えさせるで、国旗と関連付けながら、国名や英語表現に慣れることができるようにする。 ◆◆ 英語ノート II P37 を活用してデモンストレーションを行うことで、コミュニケーションの仕方についての理解を図るとともに、国名の言い方を確かにする。 ★ 行ってみたい国を尋ねたり答えたりすることがわかり、国の名前や文化に興味をもって活動している。 【関】
Wrap-up	○ 本時の活動をふり返り、発表したりカードに記入したりして、まとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 世界のいろいろな国の名前やあいさつ、文化的な特徴などについて進んで学んだことや英語表現を用いて交流できたことを称賛し、達成感や満足感を味わわせる。

第3時

目 標	○ 行ってみたい国や、理由を尋ね合う英語表現に親しみ、お互いの思いを交流し合っている。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (●HRT ◆ALT ■AT) 評価 (★)
<p>Warm-up</p> <p>○ あいさつをする。</p> <p>○ 「Grouping Game」をする。</p> <p>Exercise</p> <p>○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、行きたい国やその理由を尋ね合うという本時の活動の見通しをもつ。</p>		<p>◆◆ いくつかのあいさつの表現を交えることで、コミュニケーションの場面に親しませる。</p> <p>◆◆ 友達とふれ合うゲームを取り入れることで、以後の活動に意欲的に臨めるようにする。</p> <p>◆◆ 行ってみたい国とその理由を伝え合うスキットを見せることを通して、本時の活動の見通しがもてるようにするとともに、新たな国々についての情報も伝え、興味をもって活動できるようにする。</p>
<p>行ってみたい国や理由をたずねたり、答えたりしよう。②</p>		
	<p>○ 世界地図を用いて、国の名前を復習したり、それらの国の特徴的な文化などについて話し合ったりする。</p> <p>○ 行ってみたい国を尋ねたり答えたりする英語表現を確認し、練習する。</p>	<p>◆◆ 世界地図に国旗や各国の特色・文化等を掲示し、指し示したり、話題を投げかけたりすることで国の位置や様々な特色を視覚的に意識しながら発話できるようにする。</p> <p>◆◆ 電子ボードに英語表現を映し出したり、掛合いなど幾つかのパターンで発話させたりすることで自信をもって活動に臨めるようにする。</p> <p>◆◆ 相手を大切にしている表現や態度を意識しながら練習し、特に“Why?”はジェスチャーを交えながら相手の顔を見て発話することができるようにする。</p> <p>◆◆ 英語ノートⅡ P37 を活用してデモンストレーションを行うことで、コミュニケーションの仕方についての理解を図るとともに、ネイティブ同士の発話にもふれる機会になるようにする。</p>
<p>Game-like Activities</p>	<p>○ コミュニケーション活動をする。</p> <p>・「World Tour Planning Game I」 どこの国にどんな理由で行きたいかをグループ内で尋ね合いながら、行きたい国を地図上に示す活動を通して、伝え合う活動に親しむ。</p> <p>・「Interview Game」 どこの国にどんな理由で行きたいかをクラスの友達と尋ね合いながら、分かったことをワークシートにまとめる活動を通して、自分の思いを伝え合う活動を楽しむ。</p> <p>・ 思いを交流し合っていて気付いたことについて話し合いをする。</p>	<p>■ グループごとに世界地図を用意し、行きたい国の位置に国旗を貼ることで、位置を意識しながら伝え合えるようにする。</p> <p>◆◆ どの児童も自信をもって発話できるよう、グループを回りながら必要に応じて支援する。</p> <p>■ ワークシートに相手の名前や分かったことを記録させることで、より相手を意識した活動となるようにする。</p> <p>★ 相手を大切にしている表現や態度を意識しながら行ってみたい国やその理由を伝え合っている。 【能】</p> <p>◆◆ 隣同士やクラス全体で気付いたことを話し合うことで、伝え合った相手のことやコミュニケーションの成果を再認識できるようにする。</p>
<p>Wrap-up</p>	<p>○ 本時の活動をふり返り、発表したりカードに記入したりして、まとめをする。</p> <p>○ あいさつをする。</p>	<p>◆◆ 英語表現を用いて交流できたことを称賛するとともに、「World Tour Planning」を完成させるという、次時の活動への意欲付けをする。</p>

第4時

目 標	○ ツアー計画表 (Tour Map) をもとに、行ってみたい国や行き方、行きたい理由を説明したりしながら、お互いの思いを交流し合う。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (●HRT ◆ALT ■AT) 評価 (★)
Warm-up	○ あいさつをする。	◆◆ いくつかのあいさつの表現を交えることで、コミュニケーションの場面に親しませる。
Exercise	○ 「Alphabet Collecting Game」をする。	◆◆ 友達とふれ合うゲームを取り入れることで、アルファベットに親しむとともに以後の活動に意欲的に臨めるようにする。
Exercise	○ HRT, ALT, AT のスキットを見て、行きたい国やその理由、交通手段を尋ね合うという本時の活動の見通しをもつ。	◆◆ 行ってみたい国とその理由、そして、新しく交通手段を伝え合うスキットを見せることを通して、本時の活動の見通しがもてるようにするとともに、新たな国々についての情報も伝え、興味をもって活動できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ツアープランを完成し紹介しよう。 </div>		
Game-like Activities	○ 行ってみたい国を尋ねたり答えたりする英語表現に加え、交通手段を伝える英語表現を確認し、練習する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ALT : Where do you want to go? HRT : I want to go to □ by □. ALT : Why ? HRT : I like □. I want to see / eat □. </div>	◆◆ 前時にグループ毎に作成したツアープランの世界地図に交通手段を入れると計画が完成することを具体的に示すことで、活動の見通しや意欲がもてるようにする。 ◆◆ 電子ボードに英語表現を映し出したり、児童同士、ALTと児童など幾つかのパターンで発話させたりすることで自信をもって活動に臨めるようにするとともに、どんな交通手段を利用するか具体的に考えることができるようにする。
Game-like Activities	○ コミュニケーション活動をする。 ・ 「World Tour planning II」 第3時で伝え合った内容をもとに、お互いの思いを尊重しながら、地図上で国の位置と移動手段を確認し合っ てグループで旅行プランを立てる。 ・ ツアー紹介の練習をする。 計画したプランを分かりやすく伝えられるようにグループ内でお互いに英語表現を確認し合う。 ・ ツアー紹介をする。 “Where do you want to go?” や “Why?” と全員が尋ねたり、行ってみたい国をグループのメンバーが地図上に示しながら番に “I want to go to □ by □.” “I like □.” と答えたりしながら順番に思いを紹介する。 ・ 感想を発表し合う。	●■ グループごとに世界地図を用意し、行きたい国の間に交通手段の絵を貼ることで、位置を意識しながらプランを立てられるようにする。 ◆◆ 相手を大切にする表現や態度を意識することを再度確認し、自分たちのプランが分かりやすく伝わるよう留意しながら自信をもって発表できるようにする。 ★ 親しんだ英語表現を用いて、行ってみたい国や行き方、行きたい理由や交通手段などを説明したりしながらグループで考えたツアーの紹介をする。 【能】 ●■ 友達の発表のよさや工夫などについて、気付いたことを発表し合うことで、より相手を意識した活動となるようにする。 ★ 発表からいくつかの国の位置や、それらの国の特色が分かる。 【気】
Wrap-up	○ 本時や本単元の活動をふり返り、発表したりカードに記入したりして、まとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 「World Tour Planning」を完成させ、英語表現を用いて交流できたことを称賛し、次の新しい単元での活動への意欲付けをする。

第6学年 外国語活動指導案

新見市立思誠小学校

1 単元名 おたずねしてもいいですか (May I ask you some questions?)

2 単元目標

- 今まで親しんだ英語表現を用いて、お互いのことを尋ねたり答えたり、紹介したりしながら、友達や外国人と楽しくコミュニケーションをする。
- 外国人と交流する活動を通して、お互いの国の違いやよさが分かり、それぞれを尊重する大切さに気付く。

3 評価規準

【コミュニケーションや言語・文化への関心・意欲・態度】

- ・ 友達とお互いのことを楽しみながら伝え合うとともに、招待する外国人との交流やその国について興味をもち、外国人と尋ねたり答えたり、紹介したりしながら進んで関わろうとしている。

【コミュニケーション能力】

- ・ 今までに親しんだ英語表現や相手との関係を円滑にする表現を用いて、お互いのことを伝え合っている。

【言語・文化への気付き・理解】

- ・ 交流活動を通して、お互いのことや相手の国や自分の国・地域などの文化・習慣などに気付き、お互いに尊重し合う気持ちをもつ。

4 指導計画 (全4時間)

- 第1・2時 友達とたずねあおう
- 第3時 ニール先生にたずねてみよう
- 第4時 外国人にたずねてみよう (本時)

5 言語材料

What ... do you like? I like □.

What's your hobby? My hobby is □.

When is your birthday? My birthday is □.

Where do you live? I live in □.

Where are you from? I'm from □.

What do you want to be ? I want to be a □. など

He (She) likes □. He (She) lives in □. His (Her) hobby is □. など

(相手との関係を円滑にする表現)

Hello. Excuse me. Pardon me? Me too. Thank you. など

*児童が考えた質問に関する英語表現・言語材料

第1時

目 標	○ いろいろな尋ね方や答え方を想起し、英語表現を用いて、友達について尋ねたり、自分のことを答えたりする。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (● HRT ◆ ALT ■ AT) 評価 (★)
Warm-up	○ あいさつをする。	◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。
Exercise	○ 「3 Question I」をする。 ○ これまでの活動を生かして、外国人と交流することを知らせ、どんなことができるか話し合う。	◆◆ 友達と関わるゲームを取り入れることで以後の活動に意欲的に臨めるようにする。 ◆◆ 外国人が学校に来ることを知らせ、どんなことができるか発表させ、相手のことを知ったり自分たちのことを教えたりする活動に意欲をもたせるようにする。
<p>これまでに習った表現を使って、たずねたり答えたりしよう。</p>		
Game-like Activities	○ いろいろな尋ね方や答え方を想起し、練習する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> What do you want to be ? When is your birthday? Where do you live? What's your hobby? What <input type="checkbox"/> do you like? など </div> ○ コミュニケーション活動をする。 ・「Interview Game」 友達に尋ねたり、友達の質問に答えたりすることで、インタビューの質問や答え方の英語表現に慣れる。	◆◆ 英語表現を確かめ、リズムに合わせて発話をすることで、想起できるようにする。 ★ いろいろな尋ね方や答え方について想起し英語表現を用いて尋ね合うことや交流することに関心をもっている。【関】 ◆◆ インタビューする側とされる側の2グループに分け、尋ねる表現や答える表現をなるべくたくさん発話できるようにする。 ◆ 準備したワークシートに、質問をして分かったことなどを記録させることで、友達と進んで関わるができるようにする。 ★ 今までに親しんだ英語表現を使って尋ねたり答えたりしている。【能】
Wrap-up	○ 本時の活動を振り返り、発表したりカードに記入したりしてまとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 英語表現を用いて活動できたことを称賛し、外国人にどんなことを尋ねたり教えたりすれば楽しい交流になるか話し合ったりして、今後の活動への意欲付けをする。

第2時

目 標	○ 尋ねて分かったことを He・She (His・Her) などの英語表現を用いて他の人に紹介する。	
過 程	児童の活動	教師の支援 (● HRT ◆ ALT ■ AT) 評価 (★)
Warm-up	○ あいさつをする。 ○ 「Grouping Game」をする。	◆◆ 明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。 ◆◆ 友達とふれ合うゲームを取り入れることで今後の活動に意欲的に臨めるようにする。 ◆◆ 質問の仕方や、態度についても想起できるようにする。
Exercise	○ HRT・ALT・ATのスキットを見て本時の活動の見通しを持つ。 ALT : What's your name ? HRT : My name is □. ALT : What sports do you like? HRT : I like ○. (ALTがATに向かって) ALT : Her name is □. She likes ○. AT : Ok.	◆◆ 尋ねたことを紹介するスキットを見せることを通して、本時の活動の見通しがもてるようにする。
たずねた相手のことを他の人に紹介しよう。		
Game-like Activities	○ いろいろな尋ね方や答え方を復習する。 ○ 分かったことを他の人に紹介する言い方を練習する。 ○ コミュニケーション活動をする。 ・「Spiderman Game」(3チーム) 先頭が知ったことを He・She を使って紹介しながら、後ろへ大きい声で速く伝えることで、英語表現に慣れる。 ・「Expecting Game」をする。 (6チーム) 友達の答えを予想して、His・Her を使って答えることで、His・Her を使って紹介する英語表現に慣れる。	◆◆ 英語表現を確かめ、リズムに合わせて発話をするので、自信をもって活動に臨めるようにする。 ■ 基本的な英語表現を電子ボードに映し出し、必要な児童には発話の手掛かりになるようにする。 ◆◆ 各グループに寄り添い、英語表現について支援し、それぞれの児童が意欲と自信をもって発話できるように励ます。 ◆◆ デモンストレーションを行い、ゲームの仕方が理解できるようにする ◆◆ 友達と協力してゲームを進めているグループを称賛し、活動意欲を高める。 ★ 尋ねて分かったことを He・She (His・Her) を用いて紹介している。【能】
Wrap-up	○ 本時の活動を振り返り、発表したりカードに記入したりしてまとめをする。 ○ あいさつをする。	◆◆ 英語表現を用いて活動できたことを称賛し、今後の活動への意欲を高める。

第4時

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで親しんできた英語表現や相手との関係を円滑にする表現などを用いて、外国人に尋ねたり答えたり、紹介したりしながら楽しく交流をする。 ○ 外国人との交流を通して、自分たちと同じように外国人も自分の国を大切にしていることに気付く。 	
過 程	児童の活動	教師の支援 (● HRT ◆ ALT ■ AT) 評価 (★)
<p>Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをする。 ・外国人の名前と出身国を知る。 ○ 「Grouping Game」をする。 <p>Exercise</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ HRT・ALT・ATのスキットを見て本時の活動の見通しを持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆◆ 招待した外国人の名前や出身国を集団発話で尋ね、あいさつをすることで、活動への意欲を高めるようにする。 ◆◆ 招待した外国人にも参加してもらい、一緒にゲームを楽しむことで、交流を進めやすい雰囲気を作るようにする。 ◆◆ 質問の仕方や、態度についても想起できるようにする。
外国の方いろいろなことをたずねたり答えたりしてみよう。		
<p>Game-like Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 尋ねる表現や答える表現、紹介する表現を練習する。 ○ コミュニケーション活動をする。 ・ Interview Time グループで事前に考えた質問を分担して尋ねたり、相手からの質問に答えたりしながら伝え合う活動を楽しむ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> What do you want to be ? When is your birthday? Where do you live? What's your hobby? What <input type="checkbox"/> do you like? など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Introduction Time 尋ねて得た情報をもとに、外国人についてグループで紹介することで、伝える体験を楽しむ。 ・ Listening Time 写真などを交えながら外国人の方の話を聞くことで、外国の様子や文化などにふれる楽しさを味わい、感想を発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆◆ 英語表現を確かめ、リズムに合わせて発話をするので、自信をもって活動に臨めるようにする。 ■ 基本的な英語表現を電子ボードに映し出し、必要な児童には発話の手掛かりになるようにする。 ◆◆ 質問する児童に寄り添い、英語表現について支援し、それぞれの児童が意欲と自信をもって発話できるように励ます。 ◆ 準備したワークシートに、質問をして分かったことなどを記録させることで、紹介する際に役立てられるようにする。 ◆◆ 相手に質問が通じた喜びが感じられるよう、その都度称賛する。 ◆◆ グループごとにインタビューして分かったことを He・She (His・Her) の表現を用いて紹介させることで、学級全体に伝えられるようにする。 ★ 今までに親しんだ英語表現を使って尋ねたり答えたり、紹介したりしている。 【能】 ● その人のことや外国の様子などを聞いて分かったことや感想を発表し、伝え合えた喜びやお互いの国のよさに目が向けられるようにする。 ★ 外国人との交流を通して、自分たちと同じように外国人も自分の国を大切にしていることに気付く。 【気】
<p>Wrap-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の活動を振り返り、発表したりカードに記入したりしてまとめをする。 ○ あいさつをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆◆ 英語表現を用いて交流できたことを賞賛し、今後の活動や中学校での英語学習への意欲付けをする。